



あまのつばき

議会だより

あなたと議会を
つなぐ情報誌

No. **197** 号 令和3.11.15

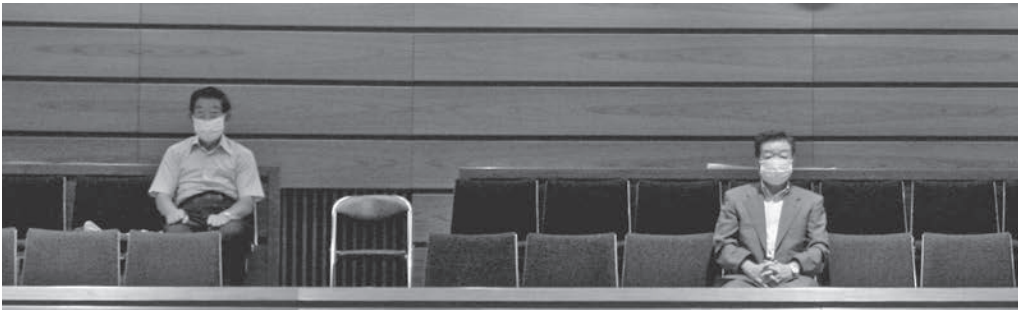
主な内容

令和2年度の決算を認定、決算審査特別委員会 (9月定例会議)	2 ~ 7
常任委員会報告	8 ~ 10
5名の議員が一般質問	11 ~ 14
請願陳情	14
臨時議会	15
議会の主な活動・編集後記	16

沿道の秋海棠

9月定例会議

中之条町各会計の
決算状況



定例会議2日目(一般質問)の傍聴席

9月定例会議は、1日から15日までの15日間の会期で開かれました。
2日には、5人の議員が一般質問を行いました。
決算認定のほか、補正予算、条例の一部改正、教育委員会委員の任命や過疎地域持続的発展計画など町長提出議案13件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。
また、報告が5件ありました。
そのほか、請願、陳情の審査・採決を行い、意見書の提出2件が可決されました。
代表監査委員からは各会計の決算について決算審査報告をいただきました。

2年度の決算を承認

会計名		歳入	歳出	差引金額
一般会計		132億 1,814万円	122億 7,272万円	9億 4,542万円
特別会計	国民健康保険	19億 6,819万円	19億 1,108万円	5,710万円 (1億3,119万円)
	後期高齢者医療	2億 4,228万円	2億 4,216万円	12万円 (6,175万円)
	介護保険	20億 57万円	18億 7,501万円	12,556万円 (2億6,862万円)
	四万へき地診療所事業	6,584万円	5,678万円	905万円 (1,562万円)
	介護老人保健施設ゆうあい荘事業	6億 5,818万円	6億 4,093万円	1,725万円 (1億4,300万円)
	簡易水道事業	6,773万円	6,334万円	440万円 (4,062万円)
	下水道事業	5億 7,808万円	5億 2,284万円	5,524万円 (2億8,738万円)
	農業集落排水事業	3億 5,608万円	3億 3,678万円	1,931万円 (2億2,501万円)
	発電事業	4億 2,827万円	3億 7,485万円	5,342万円 (103万円)
事業名		事業収入	事業支出	経常利益
企業会計	自動車教習所	9,441万円	9,338万円	103万円
	上水道	2億 4,430万円	1億 9,493万円	4,937万円
	簡易水道	1億 1,001万円	1億 1,645万円	△644万円

※単位未満を四捨五入、()内は一般会計からの繰入金額

監査委員の意見（抜粋）

代表監査委員 山本 恒夫
監査委員 小栗 芳雄

○一般会計・特別会計

全般的に計数的な非違は認められず、予定された事業も令和3年度へ繰り越された事業を除いては、円滑に執行されており、各会計の決算は正確かつ適正に処理されていると認めました。

町を取り巻く環境は、厳しい財政状況や人口減少社会に代表される急速な社会情勢の変化のなか、社会保障経費の増大など、複雑かつ多様化する住民ニーズを的確に把握し、住民福祉の向上に向け行政に反映することが求められています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きの見えない経済状況のなか、急速に進展する人口減少社会への対応、子育て支援や高齢化対策、新型コロナウイルス感染症対策等への感染予防と併せ、老朽化した公有財産の管理も今後自治

体の大きな財政負担となります。よりよい中之条町の実現に向け、子育てや介護等の福祉の増進や教育の環境整備などと併せて、社会環境の変化にも対応できる計画的な事業の実施が最重要課題であると感じています。

町では、こうした行財政課題に備えて、地方債残金の積極的な圧縮と後年度以降に交付税措置される有利な地方債の活用にも努めるほか、財政調整基金や減債基金等の積み立てにも積極的に取り組む、財政の健全化に努めています。

また、チャッポミゴケ公園に代表される地域資源の活用と併せ、ふるさと納税や中之条ガーデンズの整備の取り組み、健康づくり事業による医療費の圧縮等にも努め、ビエンナーレをはじめとする多くのイベントなどを導入し町の増加に

よる地域の活性化に努め成果を上げています。さらに地域防災計画の策定に積極的支援を行うなど、地域住民の安心・安全に取り組む姿勢が確認できました。

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言などの影響により、個人消費が落ち込み、景気は厳しい状況にあります。また、国の進める構造改革を戦略的に進め、ポストコロナの持続的な成長基盤の構築を目指していくうえで、自治体の行政運営はさらに多様化し、厳しい状況となると予想されますが、今後も県内町村をリードする自治体として努められるよう希望するところです。

各特別会計は、それぞれの事業目的の達成に向けて事業を実施しており、実質収支等の実績からも、健全な運営がなされていると判断します。

○企業会計

3事業ともに、近年における人口減少社会や高齢化、生活様式の変化等の影響を受けつつも、財務諸表においては透明度の高い内容で、意欲的に健全な経営に取り組む姿勢がうかがえました。

自動車教習所事業会計では、コロナ禍による地元での免許取得や大型特殊車免許取得のための入所者の増により、前年比でも入所者が増加し黒字となりました。周辺の同業者との競争も激しく、経営状況は厳しい状況にありますが、時代に即して創意工夫に努めた経営姿勢もうかがうことができました。

上水道事業会計及び簡易水道事業会計は、企業としての経済性を十分に発揮し、安心、安全な生活水の供給を実現しています。

近年は休止件数の増加や給水量も減少する傾向にあり、管路の老朽化に伴う更新需要の増大や人口減少による給水量の減少も踏まえ、処理施設の計画的な更

新、有収率の向上、経費の削減など効率的な経営に取り組み、良質で安全な水の供給に努めることが望まれます。

○財政健全化判断比率の報告

監査委員の審査に付し、その意見を付けて議会に報告。

実質赤字比率および連結実質赤字比率は、各会計とも赤字がないため該当しません。

実質公債比率は10・0%で前年度を若干上回る結果となりましたが、財政は健全な状況と判断されます。

○公営企業資金不足比率の報告

公営企業会計の資金不足比率の数値を精査し、監査委員の審査を受け、議会に報告。

各企業会計とも資金不足がなく、健全な状況と判断されます。

決算審査 特別委員会

委員長 山本日出男
副委員長 関 常明

★ 主な質疑

①令和2年度中之条町歳入歳出決算認定について

《総務企画分野》

関 美香委員 前年と比較し総務費の不用額が倍以上となっているが要因は。

総務課長 ふるさと納税が予定より少なく積立金の減額やコロナ禍により感謝券の使用期限を1年延長したことにより宿泊客が減少したものです。

剣持秀喜委員 令和7年度には財政の硬直化が顕著に表れ、公債費も増加していく見通しの中で、町長の考えは。

町 長 人口が減っていくことは間違いない事実で、適切な収入を適切に予算化

するとともに、目的が達成したものはスクラップしていくのも案だと思えます。令和7年度の金額に見合うような予算を皆さんと話し合っています。

篠原一美委員 温室効果ガスの削減について、町でもこれだけの排出効果があるので、数値を達成できない企業等に買い取ってもらおう考えは。

町 長 事業所や企業等とは交渉したことはありませんが、自治体同士で行っているところもあるため、友好都市である東京都北区と交渉した経緯があります。が、財政等の理由でできませんでした。

富沢重典委員 役場庁舎で導入した木質バイオマスボイラーについて、故障時のために重油ボイラーを残しておくとの説明を受けたが重油の使用が多い理由は。六合支所は、重油ボイラーを撤去しているため、どのように対応するのか。

総務課長 夏の猛暑日は、会議室の使用状況や天候により保健センターの太陽光

発電が使えない時は重油を使用しますが、常時ではありません。支所については、設備のギア比を変えるなどして対応しています。

安原賢一委員 定額給付金について、商店や飲食店は今後、経営を継続できるかの状況にある。国からの助成だけではなく、町としての施策の継続の考えは。

町 長 国からの定額給付金に加え、町独自で地域商品券を2回給付し、3億円ほどが町内に出回ったと認識しています。コロナ対策だけではなく、また商店だけではなく、また観光業など全体的に考える必要があります。

剣持秀喜委員 準町民制度の効果は。準町民からいろいろな意見を聞く仕組みを作るべきでは。

町 長 ふるさと納税で一定額以上の方にお米を中心としたPR商品を送付し、町の情報を配信することで、町に関心を持つていただき、関係人口を作っていくというところで進めています。

《文教民生分野》

富沢重典委員 不妊治療について先進的な取組をしていると思うが、もう少しPRをすべきでは。

町 長 今後も出産や子育てしやすい環境を整えていきたいと思えます。

剣持秀喜委員 ゆうあい荘について、赤字による一般会計からの繰出金が年々増加している。介護老人保健施設である必要性や指定管理者制度の導入について、もう一度議論するべきと思うが。

町 長 設置して二十数年が経ち病院からの派遣職員の人件費や修繕個所の増加など費用負担が増えていきます。町でも老人保健施設はここだけなので、なくてはならない施設だと思えますが、指定管理も含め、運営の在り方について議論が必要だと思えます。

山田みどり委員 コロナウイルスワクチン接種について、予約等で混乱が生じてしまったが、今後3回目もあるかもしれないので、反

省点も踏まえ今後活かすべきだと思うが。

町 長 町では早くに取り組みを行ったため、他の取り組みを参考にできず予想以上の混乱が生じてしまいました。窓口での受付や土日の対応等で混乱も多少治まり、また64歳以下の方には反省も踏まえ、接種の意向調査や希望者への日の指定をするなどの対応を行いました。

山田みどり委員 コロナ禍によりテールブルマナー教室のかわりに町の特産品を配布したが、生徒より保護者に喜ばれる結果になったのでは。今後このようなことがあるときは、子供たちの意見も聞いて考えてほしい。

教育長 感染防止の観点から教室を実施できず、代替案を検討しましたが、なかなか見つかりませんでした。ふるさと体験事業として行う事業ですので、ふるさとを感じてもらえる物として町の特産品を贈らせていただきました。

関 美香委員 英語検定の取得状況も上がっているようだ。英語検定受験補助金が英語検定の達成率に貢献していると考えているか。検定を受ける意欲にもつながるので今後も継続してほしい。

教育長 3級以上を取得する子供たちが増えており、成果は上がっています。目標に掲げているように、50%の子供が3級以上を取得して卒業してほしいと思っています。

福田弘明委員 分散登校や休校が多く、従来と違う環境の中で子供の格差等が想像されるが、どのような印象をもっているか。

教育長 学びの深さがどう保てるか危惧されましたが、学校でできる範囲できめ細かく子供たちを見て、格差を埋めるよう努力してもらったと思います。

《産業建設分野》

剣持秀喜委員 美野原農業公園構想事業について、NPO設立によるまちづくり

の手法は大切だと考えるが、今後どのようなサポートを行っていくのか。

町 長 農業だけでなくいろいろな分野の方にお手伝いいただき、学生からも意見を聞き4年をかけて農業や産業を盛り上げる取り組みです。今後は、NPOで独自に商品開発や販売をし、農家所得の向上に活躍してくれたいと思いますので、町でも支援していきま

福田弘明委員 おいしいお米づくり事業について、地道な努力の積み重ねが成果として反映されていると思うが、今後の考えは。

町 長 準町民制度でお米を贈るとリピーターとして注文があり、昨年度如月キヤンペーンでも3万人に配布し人気が出たと思います。地道な努力を続けていくことが大切であると思います。

山田みどり委員 中之条ガーデンズについて、美野原農業公園構想と絡めて商品開発等の準備ができた中でオープンするなど、昨年度

中に計画の検討はできたと思うが。

町 長 コロナ禍以前より、4年間で整備をし、1年間の準備期間を経てオープンという計画を進めてきました。いろいろな手直しする部分があり、スケジュール的にも大変な状況でしたが、計画どおりオープンさせていただきました。

篠原一美委員 ガーデンズには3名の地域おこし協力隊員が活動しているが、園芸指導経費等の削減のためにも、将来も町に定住し運営管理に携わってもらえる見通しは。

町 長 いままでも町に永住された方もいますので、ここで生活していけるよう町でも支援していかなければならないと思います。

剣持秀喜委員 ガーデンズについて、決算上では5年間で約9億円、さらに人件費等も加わってくると思う。昨年度も約2億円をかけてオープンはしたが、現実にはコロナ禍の影響もあり大変厳しい状況だが今後の構想や未来図は。

町 長 町の観光、農業の拠点を築いていきたいと思

っています。ガーデンズだけを取り上げて収支というのでも必要ですが、広い意味で町全体で一つの企業としての功績も必要だと思っています。コロナ禍が終息すれば大勢のお客様が来てくれると思うので、観光宣伝をしたり、住民にこの施設を好きになっていただき、お客様を連れてきていただきたい仕組みを作っていきたいと思

富沢重典委員 町の飲料水「花ゆかり」について、イベント等で配っているが、原価も高く、PR効果もそれほど高くないと思うが、今後も続けていくのか。

町 長 単価の問題もありますが、おいしいという感想もいただきますので、自然豊かなものを提供できるのもよいと思いますので検討していきます。

②令和2年度中之条町事業会計決算認定について
※上水道事業の利益剰余金を積立金として処分する公

営事業に係る利益剰余金処分も併せて審議しました。

◎ 利益剰余金処分

会計名	利益剰余金	積立金の内訳	
		減債積立金	建設改良積立金
上水道事業	2億6,179万5,363円	2,500万円	2,500万円

決算審査結果

○令和2年度歳入歳出決算認定について審議した結果、賛成多数となりました。

○令和2年度事業会計決算認定について、公営事業に係る利益剰余金処分について審議した結果、賛成となりました。

決算認定に
ついての討論

○ 反対討論

山田みどり議員

中之条ガーデنزの事業費は、2億1千万円で過去数年、改修工事を行って来た時よりも高くなっていく。町長は有料化に向けてオープンすることにこだわっていたが、緊急事態宣言が発令された時点で、オープンを見直し1年先送りし安心して訪れていただくことを考えるべきであった。

また期限付き地域商品券の配布は、利用する店舗に偏りが生じ、3種類の券は使いづらいつという声もあり、公平性のない支援となつてしまった。

特にコロナ感染者が郡内で確認され、町民に不安が広がり様々な憶測が飛び交い、災害ともいえるべき非常事態に、町長からの発信が全くなかった。まず行うべきは町民に寄り添い、自らの声で事態の説明を町民に向けて丁寧に行うべきであった。

◎ 審議結果

議員名等 議案名等	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		山田みどり	佐藤力也	関美香	大場壯次	篠原一美	富沢重典	関常明	唐沢清治	安原賢一	小栗芳雄	福田弘明	劔持秀喜	山本日出男	齋藤祐知	山本隆雄
令和2年度中之条町歳入歳出決算認定について	認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-

注) 審議結果に対して、○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長は採決に加わらないため「-」で表示

補 正 予 算

◎ 一般会計 (主な事業)

事業名	補正額	主な内容	予算総額
役場庁舎管理事業	1,392 万円	社会福祉協議会が使用している事務室の改修	100 億 1,205 万円
ふるさと納税事業	213 万円	コロナ禍による感謝券の使用期限の延長に伴う印刷費等	
福祉自動車利用料助成事業	11 万円	福祉自動車の利用者増加による助成金	
地域生活支援事業	21 万円	自動車免許取得事業補助金の申請希望者が増加したため	
六合温泉医療センター運営管理事業	99 万円	六合温泉医療センターの施設修繕費	
商工振興対策事業	158 万円	街路灯整備補助金	
町単独道路維持事業	1,150 万円	町道の補修等の要望に対応するための修繕費用	
消防施設整備事業	110 万円	防火水槽設置工事費用の増額	
総合運動場運営管理事業	108 万円	軽トラックの購入	

◎ 特別会計

会計名	補正額	主な内容	予算総額
介護保険特別会計	4,119 万円	令和2年度事業費の実績に伴い、国、県、社会保険診療報酬支払基金への返還金	20 億 4,519 万円
四万へき地診療所事業特別会計	90 万円	医師の転居等に伴う各種手当	6,075 万円
下水道事業特別会計	697 万円	2か所の分譲地計画に伴う管渠埋設及び公共柵設置など	5 億 4,697 万円
農業集落排水事業特別会計	218 万円	職員の異動に伴う人件費	3 億 4,718 万円
上水道事業会計	23 万円	資格取得に伴う講習会の実施場所の変更に伴う費用	2 億 3,867 万円

条例の改正

★防災会議条例の一部改正について

防災会議の事務の執行にあたり広く意見を聴取するため、防災会議の委員に自主防災組織を構成する者、学識経験者を任命できるようにする。

○質疑

佐藤力也議員 改正規定だけでは結果として委員が男性だけとなる可能性もあると考えるが。

総務課長 防災会議の委員の任命について、女性の意見をとり入れるべきと一般質問でも指摘をいただき、また女性の視点に立った防災復興の取組について国からも通知がありましたので、町でも積極的に女性を選任し、意見を聞いていきたいと考えています。

人事案件

★固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会

委員の齋藤晴久さん（五反田）が、9月20日に任期満了となるため、新たに宮崎靖さん（伊勢町）を選任するものです。任期は、9月21日から3年間です。



宮崎 靖 氏

★人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の山本今朝吉さん（生須）が任期満了となるため、引き続き同氏を推薦するものです。任期は、令和4年1月1日から3年間です。

★教育委員の任命

教育委員の高橋久夫さん（伊勢町）が、9月30日に任期満了となるため、引き続き同氏を任命するものです。任期は、10月1日から4年間です。

過疎地域持続的発展計画

★過疎地域持続的発展計画の策定について

新過疎法の成立に伴い、町全域が過疎地域に指定されました。各種過疎対策事業として支援措置を受けるため、令和3年度から5年間の計画を策定するもの。

○質疑

山本日出男議員 計画は5年間だが指定は10年間なのか。過疎地域政策支援の中で多様な人材確保とあるが具体的に該当するものは。

企画政策課長 10年間の計画も可能ですが、県の方針に従い5年間としました。地域おこし協力隊、地域プロジェクトマネージャー、特定地域づくり事業協同組合等の採用または設立が該当するため、計画にも盛り込んでいきます。

篠原一美議員 計画に盛り込まれたすべての事業が、過疎対策事業債の対象になるのか。

条例の制定

★過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例制定について

新過疎法の制定により、継続して固定資産税の課税免除等を行うもので、対象業種に情報サービス業等を追加し、取得価格要件を2700万円超から資本金の規模に応じて500万円以上に引き下げるもの。

報告

★一般財団法人中之条電力の経営状況に関する書類の報告

・令和2年度事業報告書及び決算報告書、令和3年度事業計画及び収支予算書が提出されました。

企画政策課長 すべて過疎対策事業債の対象になります。

★株式会社中之条パワーの経営状況に関する書類の報告

・第6期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の事業報告書が提出されました。約3831万円の当期純損失を計上し、決算されています。

★一般会計継続費の精算報告

防災行政無線デジタル化移行整備事業について、平成30年度から令和2年度までの3か年の継続費（6億9582万3千円）を設定し実施してきましたが、継続年度が終了したため清算報告を行います。

烏帽子山植林組合 議会議員の選挙

烏帽子山植林組合議会議員について、組合規約により4人の組合議会議員の選挙を行う必要があります。

富沢重典議員、関常明議員、福田弘明議員、齋藤祐知議員を指名推選しました。

総務企画

開催日 令和3年9月6日

委員長 安原 賢一

副委員長 大場 壯次

委員 唐沢 清治・小栗 芳雄
 劔持 秀喜

役場庁舎改修工事について

劔持秀喜委員 役場庁舎改修工事の内容は。

総務課長 来年4月から町で行っている包括支援センター業務を社会福祉協議会へ業務委託したいことから、事務所入り口のドアや段差がある箇所へのスロープの設置および和室をフラットにし事務室に改修するものです。

野反湖線のバスについて

劔持秀喜委員 野反湖線のバスの補助金が増額になっているが理由は。企画政策課長 昨年度の実績により補助金額が確定したもので、コロナ禍の影響で、利用客の減少に伴う収入減により、町からの補助金が増額になりました。

防火水槽設置工事について

小栗芳雄委員 防火水槽設置工事について、岩盤が出た影響で110万円の補正が計上されているが、2基分を設置するということが。また設置場所は。

総務課長 設置するのは1基ですが、容量が2基分の大きさのものを設置します。場所は旧沢田小学校です。

小栗芳雄委員 用地的に他の場所へ移して設置することはできなかったのか。

町長 木材活用センター事業に伴いプールを撤去する代わりに地元との協定により2基分を整備するもので、工事開始後に岩盤が出たため、予知できませんでした。

消防団員の報酬について

劔持秀喜委員 消防団員報酬の基準が消防庁から示され、金額等も妥当と思うが、中之条町のような中山間地域では消防団が主たる活動団体となるため、その点で国からも交付税

措置などをしてもらえるか。

総務課長 国からは標準的な数値が示されており、また交付税で措置はされていますが、その内容については市町村の判断に任せるということになっています。

劔持秀喜委員 改正の時期も含め、どのような方向性で、あるいは基準で改正していくのか。

総務課長 改正の時期については、令和4年4月を予定していますが、中之条町の問題だけではなく隣接町村との境界で火災等が発生した場合なども当然考えなくてはなりませんので、吾妻郡の消防団長会等において情報を収集しながら検討していきます。

木質バイオマスボイラーについて

小栗芳雄委員 木質バイオマスボイラーが稼動するようになり随分不具合が出ている。整備してから1年足らずなので、契約不適合責任が適用されれば、町の負担も減ると思うが。また木質バイオマスボイラーに使用するチップについて規定はあるか。

総務課長 不具合については、いろ

いろな要素が絡んでおり、ボイラー自体が悪いのか、チップ自体が悪いのか、またはチップをボイラーまで運ぶ経路が悪いのか、原因を一つ一つ確認しています。他の施設でも導入していますので視察等もしています。六合支所でも導入したため、今後、設計業者と施工業者と一緒に現地に行き最終確認をしたいと思えます。また、使用するチップについては特に規定はありません。

小栗芳雄委員 しっかり精査し、責任の所在について確認をしてほしい。

請願審査

○『地方財政の充実・強化に関する請願』の審査が付託され、審議しました。

審議の結果、採択されたため、意見書の案を議長に提出しました。

陳情審査

○『コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について』の審査が付託され、審議しました。

審議の結果、採択されたため、意見書の案を議長に提出しました。

文教民生

開催日 令和3年9月7日

委員長 富沢 重典

副委員長 関 美香

委員 関 常明・山本日出男

山本 隆雄

ギガスクールでのタブレット機能について

関 常明委員 GIGAスクールにより児童生徒にタブレットが配られたが、機能によってはいじめに利用される心配があるのではないかと。町で進めるアウトメディアとの整合性は。

教育指導係長 タブレットでの子供同士のコミュニケーションには制限をかけており、使用前に指導をしています。
教育長 アウトメディアはスマホや携帯、ゲームの利用が対象であり、これからも推進していきます。

幼稚園と保育所について

関 常明委員 保育所と幼稚園を将来的にどうするかについて、こども園の機能が地域にあるという判断もいざれ出てくると思うが現時点での考えは。

管理し、忘れたときは保健室で対応ということだが、学校生活において勉強に集中するうえでも、保健室ではなくトイレに設置してほしい。

教育長 幼稚園と保育所については、定例教育委員会でも協議課題として検討をしています。どういう形がより良いか議論し、ある程度方向性が出ましたら、総合教育会議で協議し、ご意見をいただくように進めていきたいと思っています。

ゲーム時間について

山本日出男委員 学校再開についての児童生徒の調査では、教育委員会が進める1日のゲーム時間と差があり、実態が伴っていないが対策は。

教育長 1日15分のゲーム時間は守られづらいますが、各家庭に守ってもらうよう協力を依頼したいと思えます。対応策としてゲームの代わりに読書を推進したいと考え、読書通帳の活用などを勧めています。

学校での生理用品について

関美香副委員長 生理用品は個人で

関美香副委員長 デリケートなことなので、女子生徒の苦勞に丁寧に対応し、引き続きトイレへの配置を検討していただきたい。

寄贈マスクについて

山本日出男委員 寄贈されたマスクが各保育所、幼稚園、こども園、小中学校に配布されているが、利用の方法については、各学校等で自主的に行っているのか。

こども未来課長 マスクについては、各保育所、幼稚園、こども園、小中学校の規模に応じて配分させていただきます。使用に関しては、子供に配った所や、忘れてしまった子供がいた場合に渡して使用させる所もあるなど、それぞれで配慮して使用したと聞いております。

包括支援センターについて

関 常明委員 包括支援センターを業務委託したいということだが、職員の外遇・待遇は。

町長 包括支援センターの職員の基準は保健師、ケアマネージャー、社会福祉士です。保健師は町の職員ですがその他は社会福祉協議会の職員です。業務委託先は社会福祉協議会を想定しているため、身分の異動等はないと思います。

モバイルサービスでの子育て相談について

関美香副委員長 気軽に子育て等について相談できる体制づくりのため、SNSを活用した相談体制についての考えは。

町長 現在はモバイルサービスでは相談はできませんが、子育てに不安を持っている方もいるので、保健センターの中に子育ての窓口を設置し、顔をあわせて相談できる体制がありますので活用していただければと思います。

産業建設

商工業者への支援について

篠原一美委員 融資損失補償金関係の補正予算が計上されているが、コロナ禍で中小企業は大変だと思う。国や県の考えもあるが、もう一歩踏み込んで、商工業者が倒産に至らないような支援はできないか。

町長 町としては制度融資の保証や商工会への補助、リニューアル補助金などで支援しています。

ピエンナールについて

山田みどり委員 人流による感染リスクの心配もあるので、延期を検討する考えは。こういう状況の中で、町民の命優先なのか、経済優先の視点なのか。

町長 町民の命を守るというのは大前提ですが、経済を回すことも並行して行わなければならないと思いますので、ご理解いただき安心安全に行っていきたいと思えます。

開催日 令和3年9月8日

委員長 福田 弘明

副委員長 佐藤 力也

委員 山田みどり・篠原 一美
齋藤 祐知

山田みどり委員 先行きの見えない

中での事業の決定は難しいと思うが、延期という英断も検討しながら、町民から理解していただけるよう進めてほしい。

ふるさと納税の返礼品について

篠原一美委員 「花と湯のまちなかのじょう」というキャッチフレーズの中で、ふるさと納税の返礼品のひとつにガーデンズの年間パスポートと日帰り入浴券をセットにしたものを検討できないか。

町長 キャッチフレーズのとおり返礼品になると思いますし、準町民制度でも使えると思いますのでひとつのアイデアとして考えさせていただきます。

ガーデンズについて

齋藤祐知委員 ガーデンズのアゲラムの周辺の見栄えが悪いが、草が生えている箇所の活用や手入れ等の予定は。

花のまちづくり課長 スパイラルガーデンやナチュラルガーデンは、自然（植物の生育過程やそこに生息する昆虫や鳥などの生物多様性）を演出しています。たくさん花が咲いているのを求める方が多いですが、先進的な取り組みを実験的にしており、徐々に認知されるように努力していきます。

共同通販サイトについて

佐藤力也副委員長 野菜や米・花・スイーツ・民芸品など町の特産品を中之条ブランドとして共同通販サイトで販売する事業を四万温泉協会が提案しているが、町で後押しできないか。

町長 町の物産を共同で販売する取り組みはよいと思いますが、商品はどう集めるかなど、いろいろと問題もあると思います。

観光商工課長 コロナ禍で需要も増えているので、観光協会とも連携して調査、研究をしていきたいと考えています。

電子決済導入について

佐藤力也副委員長 経済の活性化と便利で住みやすい町づくりに向け、電子地域通貨の導入と併せて、電子決済導入の拡大を図れないか。

町長 電子決済の方向へいくことは間違いないと考えますが、何が必要で何を目的にしているのか、利便性の面からも慎重に検討が必要だと思います。

四万湖の問題について

佐藤力也副委員長 カヌーなど湖面利用者急増による問題について、駐車場不足解消やゴミの捨て置き等への対策は。

町長 町では、旧西中を駐車場として確保しています。ごみについては湖面利用者に管理させる必要もありませんが、地元の人迷惑をされているので、そういう点に立っても検討をしなければならぬと思います。

9月定例会議 議員5名が一般質問

○関 美香 議員・・・12ページ

- 1 防災対策について
- 2 自然災害による被害について
- 3 四万湖のカヌー利用について

○山田みどり 議員・・・12ページ

- 1 学校での生理用品について
- 2 補聴器の補助について

○福田弘明 議員・・・13ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症に対する対応について
- 2 学校教育現場における群馬県版校務支援標準システムの導入について

○大場壯次 議員・・・13ページ

- 1 教育施設における安全対策について
- 2 豪雨・土砂災害について
- 3 道路の維持管理と付随したライフラインの維持管理について
- 4 耕作放棄地について

○佐藤力也議員・・・14ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
- 2 地域通貨（電子マネー）導入について
- 3 消防団員の研修手当について
- 4 消火栓の管理点検について

・各議員から提出された「一般質問通告書」の内容を掲載しています。
・紙面の都合上、各議員のページには質問の一部を掲載しています。詳細については、ホームページでも確認できます。

◇ 議会の傍聴についてのお願い ◇

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴や観覧を希望される皆様には、マスクの着用をお願いします。また自粛等のお願いをする場合がございますので、ご協力をお願いします。

※傍聴につきましては、入場制限を行っています。役場3階第1委員会室で本会議の様子を観覧できますのでご利用ください。

次回の定例会議は、12月1日（水）から15日（水）の予定です。

災害時の情報発信について

町長—防災行政無線での情報発信を検討します



関 美香 議員

議員 停電が発生した際は、防災無線を活用し町民の皆さんへ情報発信すべきと考えるが。

町長 防災行政無線での情報発信は、行政からのお知らせに限定されていますが、電力の供給については生活に直結するものなので、「停電が発生している」という状況のみでの放送であれば可能だと思います。電力会社のアプリ等で情報を収集し、対応を検討します。

自然災害による被害について

議員 災害発生時、スマホを活用した通報手段の検討が必要ではないか。

総務課長 無料通信アプリを通じて、

誰でも必要とする情報を閲覧できることとなり、住民、また観光客にも周知できるものと思わ

れます。システムデータにより場所や状況などが把握でき、職員を始め多くの住民との情報が共有できるとすれば、安心安全に大きく寄与できると思えますので検討したいと思えます。

四万湖のカヌー等の利用について

議員 依然として公衆トイレ休さん前の駐車場内において混雑状況が見受けられる。またコロナ禍にもかかわらず、カヌー等の利用客で賑わっており、コロナ感染を心配する声が上がっている。対策が必要ではないか。

観光商工課長 カヌー利用者車両を旧西中学校駐車場へ誘導する旨の看板を設置している状況です。さらに分かりやすくするために看板類の数を増やすなど工夫が必要と考えています。また、感染症対策について町から直接の指導はしていませんが、観光協会では、国や県から要請や情報提供があれば随時通知しているとのこと。今までどおりガイドラインに添った感染症対策の実施をお願いしていきます。

無料で必要な情報を閲覧できることとなり、住民、また観光客にも周知できるものと思わ

学校での生理用品について

教育長—保健室で一元管理します。



山田みどり 議員

議員 学校のトイレにトイレに生理用品の設置をし、児童生徒が急に生理になった時にも安心して使うことができるよう検討できないか。

教育長 各学校での生理用品の取り扱いについて調査し、定例教育委員会では協議しました。調査結果から、家庭の貧困により生理用品を購入できない児童生徒の実態が無いこと、不特定多数の児童生徒が使用する学校のトイレに生理用品を置くことは、小中学生の発達段階には合わないこと理由により、小・中学校における生理用品の取り扱いについては、保健室で一元管理することとしました。

非常にデリケートな問題であると認識していますので、児童生徒の発達段階を踏まえ、その心情に寄り添いながら、家庭とも連携して対応していきます。

補聴器の補助について

議員 難聴は認知症のリスクにもつながります。住民健診での聴力検査を実施すること、補聴器の購入の補助を町で負担することはできないか。

町長 健診の項目は、特定健診および特定保健指導の実施に関する基準に定められており、聴力検査は入っていないので実施していません。年齢を重ねたことにより、聞こえの悪くなった方も含め、障害認定に至らずとも補聴器を必要としている方が多くいることは承知していますが、現在実施している補聴器の補助事業は、国、県の負担金交付対象事業であり、障害認定を受けている方が対象となっています。また、これとは別に、町単独で助成する事業を実施する場合でも、対象者はどこかで線を引く必要があると思います。今後の検討課題とさせていただきます。

ワクチン接種対象外の子供を守るため

町長—引き続き感染対策を徹底して実施



福田 弘明 議員

議員

新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン

接種対象外の12歳未満の子供を守るため対象世帯に、不織布マスク、消毒薬の配布をすべきでは。また、クラスター対策など町独自の考えは。

町長

家庭へのマスク、消毒薬配布は、今の段階では考えていません。また、クラスター対策として、幼稚園、保育所の職員については7月から優先的にワクチン接種を行い、ほぼ終了しています。小中学校の職員についてはそれぞれの住所地や県央接種センターで接種を受けられていると伺っています。

学校・園所においては、児童生徒および職員の登校前の検温の実施や健康観察、施設内の消毒、換気、密にならない工夫等、感染対策を徹底しています。今後も継続して対策を実施してい

きます。

家庭内感染への対策について

議員

家庭内感染で子供だけ陰性の場合どう救済するか。

保健環境課長

保護者が陽性になった場合のこども(陰性)をどのように救済するかは、全国的な課題と認識しています。今の段階で県の施設で受け入れ可能なところもありますが、年齢などいろいろな条件もあるようです。それ以外は有効な手立てはありません。広域的にも情報共有しながら対策を検討していきたいと思

3回目のワクチン接種について

議員

3回目の予防接種への対応について伺う。

保健環境課長

現在、国で導入に向けて検討しているようです。町としては、今後国からの通知があれば、対応を検討していきたいと思

います。

教育施設の安全対策は

教育長—定期的に遊具を含めた校庭内の施設点検を実施



大場 壯次 議員

議員

各施設の安全対策に問題はな

か。管内各校において、定期的に遊具を含めた校庭内の施設点検を行っています。小中学校では毎月教職員により校舎、校庭内の設備等の安全点検を行い、遊具については、業者による点検を年に1回実施しています。指摘のあった箇所の修繕等を必要に応じて実施し、安全確保に努めています。

道路の維持管理と付随したインフラの維持管理について

議員

道路の除草は、どのように考えているのか。また、道路わき電柱ケールに枯木が触れている場所があるが、対策を。

建設課長

人家や耕作地がある地区内

の道路であれば、地元の方々の出役で草刈りが行われている状況があります。

幹線道路でも人家や耕作地が無い区間ですと、除草ができない状況もあるので、地元からの要望を受けた中で、除草業務を建設業者に委託しています。また、電柱ケーブルに枝が触れて危険な場所は、木の所有者が東京電力やNTTへ連絡するのが最適な方法と考えています。

耕作放棄地について

議員

耕作放棄地対策は、どのように行われているのか。

農林課長

条件の悪い場所での耕作や

農道・用水等の維持管理等を行う農家に対して、「中山間地域等直接支払交付金」や「多面的機能支払交付金」による支援を行い、農地の維持を図っています。また、耕作できなくなった農地を「農地中間管理機構」を通して認定農業者や新規就農者等へ貸し付け、集約することで効率的な農業を目指し、各種作業を自ら行うことが困難な場合は、地域の担い手に作業を受託していただくなどの対策を行っています。

ふるさと納税寄附金について

町長一引き続き取り組みを進めていきます



佐藤 力也 議員

議員

令和2年度の寄附額が、約4億5千万円激減したが、今後の対策は。

町長

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域限定の感謝券を扱っている自治体は敬遠され、自宅でも楽しめるお取り寄せ品を返礼品にしている自治体への納税額が伸びたようです。

地場産品基準外とされていた電力も取り扱いが継続できるところとなったので、現在調査中です。感謝券及びお礼の電力を主に軸に引き続き取り組みを進めていきます。

小中学校の分散登校について

議員

給食休止を決めた理由。また、学校と家庭でのオンライン授業の取り組みは。

教育長

緊急事態宣言下において、2

学期の始まりから9月6日までの間、短縮授業、地区によっては分散登校の決定をいたしました。それに伴い、感染防止を最優先として給食の停止を判断いたしました。

また管内の小中学校が、今後オンライン授業を行うことになった場合の実証実験を兼ね、六中中学校では生徒が端末を持ち帰り、オンライン授業を受けたり、ドリル学習に取り組むなど、先行して実施しています。この取り組みを各校にフィードバックしていく予定です。

消防団員の研修手当てについて

議員

消防学校にて、仕事を休んで研修を受ける団員に、手当支給を。

町長

団員の負担は大きいものと認識しています。研修を受け、知識や技術を習得することは、町の安全安心への取り組みに大きく貢献していただいているものと考えています。消防団員の報酬等について現在検討中ですが、研修時への対応についても、同時に検討していきたいと思えます。

請願・陳情

★請願第2号（概要）

新型コロナウイルスにより地方自治体には、ワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、「新しい生活様式」への変化を余儀なくされた住民の日常生活から発生する問題など、あらゆる課題に即時・適格の対応が求められ、同時に従来の行政サービスにも、これまで以上の対応が求められる。近年多発している大規模災害に対しては防災減災、国の方針であるデジタル・ガバメント化への対応など、多岐にわたる対応も迫られている。2022年度の予算の検討にあたり、地方財政の確立を目指すよう11事項の実現を求める。

★陳情第2号（概要）

地方自治体においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障費等への対応に迫られており、地方税財源の充実が不可欠である。

国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け5事項の実現を強く要望する。

【請願・陳情審査報告】

受理番号	件名	請願・陳情者	委員会審査	本会議採決
請願2	地方財政の充実・強化を求める請願	日本労働組合総連合会 群馬県連合会北部地域協議会 議長 渡邊 晴彦	採 択	採 択
陳情2	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	群馬県町村議会議長会 会長 仲澤 太郎	採 択	採 択

第2回臨時会議

令和3年第2回臨時会議が、7月30日に開かれました。

補正予算、財産の取得など町長提出議案3件を審議しました。

★一般会計補正予算 (第3号)

新型コロナウイルス集団接種を5月から実施していますが、費用については令和2年度からの繰越事業である「新型コロナウイルスワクチン接種事業」で行っていましたが、国から令和3年度の交付金対象事業とする旨の指示があったため、事業内容の組み替えを行いました。補正金額は、10万9千円を減額し、予算総額は99億5232万1千円となりました。



新型コロナウイルスワクチン集団接種会場

★財産の取得について

第5分団第1部(小雨地区)に配属予定の可搬動力ポンプ搭載消防ポンプ車(1台)を取得するものです。四輪駆動、乗車定員6名で、取得金額は、3256万円です。

★損害賠償の額を定める

公用車での送迎中の自損事故に伴うもので、同乗者と和解が成立したことから、治療費等として447万8637円の賠償金を支払うものです。

第3回臨時会議

令和3年第3回臨時会議が、10月8日に開かれました。

補正予算など町長提出議案3件を審議しました。

★一般会計補正予算 (第5号)

国から新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済支援策として、「新型コロナウイルスワクチン接種事業」が追加で交付されたことにより、早期に事業を計画し実施するものです。補正金額は、4800万円を追加し、予算総額は100億6005万4千円となりました。

○質疑

◆剣持秀喜議員 昨年度の持続給付金の状況を参考に140件を見込んだということだが業種は。

観光商工課長 昨年度の内訳は、旅館業38件、建設業33件、卸売・小売業19件、製造業16件、その

他農林業、教育関係、運輸業です。飲食業関係は休業支援金をほとんどの方が申請しているため除外しました。

★土地開発公社の解散について

昭和60年に町が出資して設立しまちづくり役割を果たしてきましたが、公共施設等整備事業の減少や地価の下落により、公社を活用した公共用地取得の必要性が低下したことから解散をするものです。

○質疑

◆山田みどり議員 解散に伴う町民への影響はないか。

町長 現在は地価の高騰もなく、住民福祉向上のために土地を先行取得して確保しておく必要性もなくなりました。

★専決処分の報告について

公用車の物損事故による和解が成立し報告されました。

議会で情報発信中！！

会議録や議員ごとの視察研修報告、本会議の録画配信をご覧ください。

議会ホームページURL

<https://www.town.nakanojo.gunma.jp/gikai/>

議会ホームページ QRコード



中之条町議会

中之条町公式サイトへ

TOP 議会のしくみ 本会議と委員会 議会だより 会議録 議会録画配信 視察研修報告 その他 サイトマップ



議会の主な活動

- (1) 8月17日 自動車教習所運営委員会
- (2) 20日 中之条ビエンナーレ運営委員会
- (3) 23日 吾妻広域町村圏振興整備組合議会
- (4) 23日 吾妻環境衛生組合議会
- (5) 25日 議会運営委員会
- (6) 25日 全員協議会
- (7) 26日 西吾妻福祉病院例月監査
- (8) 27日 東部湯の丸インター関連道路網整備促進期成同盟会総会（書面審議）
- (9) 30日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会定例会

- (10) 9月1日 9月定例会議1日目
- (11) 2日 9月定例会議2日目（一般質問）
- (12) 2日 議会運営委員会
- (13) 4日 群馬県人権啓発講座
- (14) 6日 予算決算審査特別委員会1日目
- (15) 6日 総務企画常任委員会
- (16) 7日 予算決算審査特別委員会2日目
- (17) 7日 文教民生常任委員会
- (18) 8日 予算決算審査特別委員会3日目
- (19) 8日 産業建設常任委員会
- (20) 15日 9月定例会議3日目
- (21) 15日 中之条土地開発公社理事会
- (22) 16日 県防災ヘリコプター事故に係る令和3年度慰霊登山
- (23) 17日 北毛地区社会教育委員研究集会
- (24) 21日 経営管理実施権の設定を受ける民間事業者の選定委員会
- (25) 22日 野反湖シラネアオイ植栽
- (26) 24日 西吾妻福祉病院組合議会
- (27) 25日 県防災ヘリコプター事故殉職者慰霊碑除幕式・三周年追悼式
- (28) 28日 吾妻東部衛生施設組合議会

- (29) 10月5日 通学路合同点検事前会議
- (30) 8日 第3回中之条町議会臨時会議
- (31) 11日 通学路合同点検（中之条地区）
- (32) 13日 通学路合同点検（六合地区）
- (33) 15日 議会広報特別委員会
- (34) 20日 温泉施設検討委員会
- (35) 22日 県議長会理事会
- (36) 27日 町民ゲートボール大会
- (37) 27日 議会広報特別委員会



(25) シラネアオイ生息地の保全管理作業を行いました



(29) 通学路合同点検事前会議



(31) 通学路の安全確保に向けた合同点検

編集後記

猛暑から一転、秋が足早にやってきました。「行楽の秋」を楽しむにも今やマスクは必需品です。新型コロナウイルスの接種は進みましたが、冬にはまた感染が広がる恐れがあり、インフルエンザの流行も懸念されます。

町民の皆さまが安心して生活できるよう町議会としても対策や情報の発信ができるよう努めてまいります。

9月定例会議において令和2年度の決算が認定されました。常設された予算決算審査特別委員会で新型コロナウイルス対策に関わる事業や施設整備など一般会計・特別会計・企業会計に係るすべての事業が審議されました。

町民に開かれた議会にするためにもこの審議内容をよりお伝えできるように研究していきます。

議会広報特別委員会

委員長 篠原 一美
副委員長 佐藤 力也
委員 山田みどり
委員 関 美香
委員 大場 壮次
委員 齋藤 祐知